

日本洞窟学会第 50 回大会 (佐野市葛生大会) 大会記録

Reports of the 50th Speleological Congress 2024 at "Sano-shi Kuzuu area" in Tochigi Prefecture.

長谷川 幸祐 (Yukihiro HASEGAWA)

日本洞窟学会企画運営委員会・カマネコ探検隊・山口ケイビングクラブ・火山洞窟学会所属 東京都在住

1. はじめに

2024 年 (令和 6 年) 度の日本洞窟学会大会が 10 月 5 日 (土) ～ 6 日 (日) の日程で栃木県佐野市葛生地区の「葛生地区公民館 (葛生化石館)」を主会場にして開催されました。開催地域は栃木県佐野市および栃木市に所在する葛生石灰岩地域です。

本年度のオンライン配信は一般講演および特別講演のみとなり、現地対面参加が主となりました。総参加者数 79 名 (一般講演 66 名、特別講演 66 名) と多くの方々に参加され、巡検や各種講習会も開催され、こちらも多くの方々の参加がありました。加えて懇親会も開催され、豪華なご馳走を頂きながら会員の方々や地元の皆様と楽しいひと時を共有し、充実した大会となりました。

今回の大会の様子を皆様に少しでも感じていただければと、誌面にてお送りいたします。

期 間： 2024 年 10 月 5 日 (土) ～ 6 日 (日)
場 所： 主会場：葛生地区公民館 (葛生化石館)
栃木県佐野市葛生東 1-11-15
巡検および講習洞窟：高松沢鍾乳洞、水木鍾乳洞、出流鍾乳洞群 (大日霊窟・不動霊窟・大師霊窟・普賢霊窟)
主 催： 日本洞窟学会 (学会長：石原与四郎)
後 援： 佐野市、佐野市教育委員会
大会長： 石原与四郎 (福岡大学・日本洞窟学会会長)
実行委員長：新部一太郎 (獨協医科大学)

2. はじめに (プログラムより)

日本洞窟学会大会第 50 回大会 (佐野市葛生大会) は栃木県佐野市及び栃木市に所在する葛生石灰岩地域を舞台に開催されます。本地域は関東地方で秩父と並ぶ石灰岩地帯ですが、知名度が低いためか実はこれまでに大会の主催地になったことはありませんでした。既知の洞窟は小規模ですが、洞窟学の視点からは未調査未開拓な部分が多く、また現在も商業的な採掘が盛んであることから経時的に調査記録を残すことの重要性が高い地域でもあります。さらに、地域の博物館拠点として葛生化石館があり、研究成果を地域に蓄積し市民に還元する体制も整っています。学会員の皆様におかれましてはこの機会にぜひ足を運んで実物を見ていただき、今後の調査研究対象に含めていただけたら幸いです。

今大会は昨年と同様に対面開催を主軸として一部オンラインにも対応します。学術講演会や座学での講習会に加え、洞窟学会大会の特徴でもある実地巡検・講習も開催します。

3. 大会日程

2024 年 10 月 5 日 (土)

8 : 00 ～ 12 : 00 巡検・講習 1
12 : 00 ～ 受付
13 : 00 ～ 16 : 45 開会式、一般講演 1 (13 演題)
17 : 00 ～ 18 : 00 評議員会
19 : 00 ～ 21 : 00 懇親会 (仙水閣)

2024 年 10 月 6 日 (日)

9 : 00 ～ 11 : 00 一般講演 2 (6 演題)
11 : 00 ～ 12 : 00 特別講演 (公開講演)
12 : 00 ～ 12 : 45 ポスターコアタイム (3 演題)
12 : 45 ～ 13 : 00 閉会式
13 : 00 ～ 17 : 00 巡検・講習 2

[参加者数] 総参加者数 79 名

- ・一般講演 66 名 (一般会員 28 名、一般非会員 15 名、学生会員 18 名、学生非会員 2 名、オンライン 3 名)
- ・特別講演 66 名
- ・巡検、講習会
10 月 5 日 巡検 40 名
10 月 6 日 巡検 29 名、生物分野講習 15 名、洞窟測量講習 4 名、化石館ツアー 5 名
- ・懇親会 63 名 (一般会員 43 名、学生会員 18 名、招待 2 名)
(実行委員会からの報告より)

4. 学術講演会

○一般講演

今大会は栃木県佐野市葛生地区の葛生地区公民館 (葛生化石館) を主会場にして開催されました (P1、P2)。

大会初日は午前中に巡検があり、午後から主会場で開会式が行われ、実行委員長の新部一太郎氏のご挨拶で始まり (P3)、石原与四郎大会長 (P4) や葛生化石館学芸員の奥村よほ子氏のご挨拶 (P5) の後、学術講演会に移りました。

一般講演は 13 演題の発表がありました。横田角光氏による、前年大会が開催された帝釈台にある「まぼろしの鍾乳洞」が大会を契機に町指定の天然記念物に指定された報告から始まり、その後専門性の高い基礎研究だけでなく、各洞窟の特徴や、洞窟測量の方法などが発表され、その分野を専門とされる方だけでなく洞窟に関わる様々な方々の興味を引く内容が発表されました (P6、P7)。

2 日目の一般講演は同会場朝 9 時から開始され、6 演題の発表がありました。新洞の測量報告などケイバーには興味深い報告もありました (P8)。